

明治大学大学院理工学研究科 博士学位取得のためのガイドライン

課程博士

【本研究科で授与する学位】

電気工学専攻	博士（工学又は学術）	Doctor of Engineering or Philosophy
機械工学専攻	博士（工学又は学術）	Doctor of Engineering or Philosophy
建築・都市学専攻	博士（工学，建築学又は学術）	Doctor of Engineering, Architecture or Philosophy
応用化学専攻	博士（工学又は学術）	Doctor of Engineering or Philosophy
情報科学専攻	博士（工学，理学又は学術）	Doctor of Engineering, Science or Philosophy
数学専攻	博士（理学又は学術）	Doctor of Science or Philosophy
物理学専攻	博士（理学又は学術）	Doctor of Science or Philosophy

【博士学位請求の要件】

在学期間

- (1) 本研究科博士後期課程に3年以上在学し，所定の研究指導を受けていること。
ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，本研究科委員会の議を経て，博士後期課程に1年（標準修業年限が1年以上2年未満の修士課程又は専門職学位課程を修了した者にあつては，3年から当該修業年限を減じた期間）以上在学すれば足りるものとする。
- (2) 博士前期課程又は修士課程を1年で修了した者にあつては，本研究科博士後期課程に3年以上在学し，所定の研究指導を受けていること。
ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，本研究科委員会の議を経て，博士後期課程に2年以上在学すれば足りるものとする。
- (3) 博士前期課程又は修士課程を1.5年で修了した者（理工学研究科博士前期課程標準修業年限短縮による修士の学位授与に関する内規に基づく）にあつては，本研究科博士後期課程に3年以上在学し，所定の研究指導を受けていること。
ただし，在学期間に関しては，優れた研究業績を上げた者については，本研究科委員会の議を経て，博士後期課程に2年以上在学すれば足りるものとする。
- (4) 前在学時に本研究科博士後期課程に3年以上在学し，所定の研究指導を受けた後退学した者にあつては，前在学時の入学の日から起算して8年以内に限り，研究科委員会の許可を得て再入学し，課程博士の学位を請求できるものとする。

単位要件

電気工学専攻，機械工学専攻及び応用化学専攻は研究指導のほか，授業科目2単位を修得しなければならない。

研究業績

- (1) 学会誌・協会誌等の学術的定期刊行物に発表された学術論文が1編以上あるか，又は発表された審査のある学術論文若しくは著作物が2編以上あること。
- (2) 掲載予定（採用決定）のものは証明になるものを添付すること。

研究倫理教育の受講

本学が定める研究倫理教育を受講していること。

研究指導

以下に掲げる本研究科学位請求までのプロセスを経ている者とする。

【学位請求までのプロセス】

研究指導体制

入学試験出願時に希望した研究指導教員及び研究計画書における内容を勘案し、研究指導教員を決定することとなる。入学時において決定した指導教員の助言のもと、研究計画を作成し、学位取得に向けて研究を行っていく。

1年次

修士論文の内容を吟味しつつ、研究の独創性、学術的意義を確認し、具体的な研究テーマを決定する。その後、速やかに研究に着手し、指導教員との連絡のもとに成果を蓄積していく。公表できる成果が得られた場合には、学術論文、学会等で積極的に発信していく。

2年次

1年次の研究経過を踏まえ、必要に応じて研究計画の見直し・修正を行う。学位論文の提出に向けて研究の進捗状況を確認し、指導教員との綿密な議論を研究内容にフィードバックしていく。その上で公表できる成果が得られた場合には、学術論文、学会等で積極的に発信していく。

3年次

学位請求論文提出年においては、これまでの研究を総括しつつ、研究業績及び成果をまとめ、指導教員の推薦を経て、学位請求書を提出する。

【博士論文に求められる要件】

博士の学位論文は、学位請求者が専攻分野の研究者や高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる豊かな学識を示すと認められるものでなければならない。また、本研究科の博士論文として相応の質・量、内容・水準を備え、以下の点に留意したものでなければならない。

- (1) 論文の独創性
- (2) 研究テーマの学術的意義・適切性
- (3) 論文の体系性
- (4) 先行研究の調査
- (5) 理論的分析・実証的分析
- (6) 論旨・主張の統合性と一貫性
- (7) 形式的要件

【博士学位請求時の提出書類・提出期日】

提出書類

- (1) 学位請求論文 3部 (仮製本可) (注1) 【見本1】
- (2) 論文要旨 ~~1-5-0部~~ (4000字程度) (PDFデータ提出) ~~(注1)~~ 【見本2】
- (3) 学位請求書 (本学所定様式) ※要指導教員の承認印 【本学所定様式：見本3】
論文題名は邦文には英文訳を、欧文には邦文訳を付すこと。
(欧文が英文以外の場合、英文訳も付すこと。)
- (4) 履歴書 (本学所定様式) 【本学所定様式：見本4】
暦年は西暦表記とします。
- (5) 業績書 (本学所定様式) 【本学所定様式：見本5】
暦年は西暦表記とします。

- (6) 参考文献 (任意提出)
- (7) 明治大学学術成果リポジトリ登録・公開許諾書 (注2) 【本学所定様式：見本6-1, 6-2】
- (8) 博士論文のインターネット公表留保申請書 (該当者) 【本学所定様式：見本7】

(注1) 研究科が定める所定の日時まで、上記「学位請求論文 (全文)」、~~「論文要旨」~~及び「論文要約」(該当者のみ)のPDFデータを追加で提出しなければならない。

(注2) 博士論文のインターネット公表留保申請を行う者は、見本6-2を提出すること。

提出期日

- (1) 提出期日：3月修了希望者：12月上旬
9月修了希望者：5月中旬
(毎年度本研究科委員会において、承認の得られた審査スケジュールに従う。)
- (2) 提出先：大学院理工学研究科担当
- (3) 審査手数料：不要

【学位審査の概要】

指導教員による承認

博士学位を請求しようとする者は、博士論文提出資格を満たし、指導教員から当該論文の内容・水準・形式について確認及び指導を受け、指導教員が博士学位請求に十分な水準であるとの判断をした場合に、論文を提出することができる。学位請求書が提出されたら、関連する専攻(系)主任が当該専攻または系会議及び総務委員会の議を経て、論文説明会を開くとともに、その内容を踏まえた上で学位論文の取扱いについて決定する。

論文説明会の実施

論文説明会は論文受理手続プロセスの一環であり、実施にあたっては、実施10日前に公示を行い、公開とする。

研究科委員会による受理審査

研究科執行部は提出された学位請求論文について、申請資格と当該論文の形式要件について確認を行う。研究科執行部が提出資格と論文の形式要件を満たすと判断した場合、研究科委員会を開催し、当該論文の受理について指導教員からの推薦をもとに審査し、受理の可否を決定する。

審査委員による本審査

研究科委員会は、学位請求論文としての受理を決定した論文に対して、主査1名及び副査2名以上の審査委員を選出する。

審査委員は、当該学位請求論文を中心としてこれに関連ある科目について、口頭試問により審査を行う。審査終了後、審査委員は研究科委員会に可否の提案とその理由を記した審査結果報告書を提出する。

学内機関による審査

研究科委員会は審査委員からの報告をもとに、審議のうえ投票により可否を決定する。研究科委員会で合格と認められた者は、大学院委員会の承認を経て、博士学位が授与される。

【学位審査等に関わる教員の責務】

審査委員の構成と責務

審査委員は、指導教員のほか、当該論文に関連ある科目の担当教員2名以上（審査のため必要がある場合は、研究科委員会の議を経て、講師又は他の大学院若しくは研究所等の教員等の協力を求めることがある）により構成し、厳正なる学位審査に努めるものとする。

各教員の責務

各教員は、研究科委員会における審査において、当該学位論文を公正かつ客観的に評価し、当該学位の水準を保つよう努めるものとする。

【博士学位論文の公表】

審査要旨の公表

博士学位が授与された場合は、当該学位論文の内容の要旨及び審査結果の要旨をインターネットの利用により公表する。

学位論文の公表

博士学位論文は、本学学位規程第22条に準拠してこれを公表しなければならない。

明治大学学位規程 第22条

本大学において博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から1年以内に、明治大学審査学位論文と明記して、当該学位論文の全文を公表するものとする。ただし、当該博士の学位を授与される前に、既に公表したときは、この限りでない。

2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない事由がある場合には、本大学の承認を受けて、当該学位論文の全文に代えて、その内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本大学は、その論文の全文を、求めに応じ、閲覧に供するものとする。

3 前2項の規定による公表は、本大学の定めるところに従って、インターネットの利用により行うものとする。

※ 「やむを得ない事由がある場合」とは、客観的に見てやむを得ない特別な理由があると本大学が承認した場合をいう。

例 ① 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含む場合

② 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、博士の学位を授与された日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含む場合

③ 出版刊行、多重公表を禁止する学術ジャーナルへの掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による博士論文の全文の公表により博士の学位を授与された者にとって明らかな不利益が、博士学位を授与された日から1年を超えて生じる場合

なお、これらの場合においても、やむを得ない事由が解消された際には、速やかに博士論文全文をインターネットで公開しなければならない。

※ 博士学位論文提出にあたり、学位請求者は博士学位論文をインターネットにより公表することについての著作権関係上の諸問題を解消しておかなければならない。

例 ○ 刊行物の場合、出版社の了解を得ておくこと。

○ 引用の図版・写真がある場合、著作権者の同意を得ておくこと。

※ 博士学位論文が、特許などの申請に関連する場合、同申請手続きについては論文提出前に行っておかなければならない。なお、手続き方法等について不明な場合は、指導教員の指示を受けた後、各キャンパスの研究知財事務室に相談すること。

本学及び国立国会図書館における公表

- ・ 博士学位論文の要旨及び全文は「明治大学学術成果リポジトリ」により公表される。
- ・ 明治大学学術成果リポジトリにより公表された博士学位論文の要旨及び全文のデータは、国立国会図書館において利用に供される。

【論文表紙様式】

原則としてA4版，黒表紙（ハードカバー）・金文字

背表紙	表紙
博士 学位 請求 論文 ○ ○ ○ ○ 年度	明治大学大学院○○研究科 ○○○○年度 博士学位請求論文
論文 タイ トル ○ ○ 学 専 攻	○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○ ○ 学 専 攻	(原則として，英文訳も併記すること)
○ ○ ○ ○	学位請求者 ○○学専攻 ○ ○ ○ ○

Academic Year @@@@
Graduate School of @@@@
Resume of Doctoral Dissertation
@@@@@@@@ Dissertation Title @@@@@@@@@@

@@@ Program
Name

1 Research goal

@@
@@
@@@@@@@@@@@@@@@@

2 Summary of the chapters

@@
@@
@@@@@@@@@@@@@@@@

Style

- 1 Font: —Times New Roman
- 2 Point: —12 pt
- 3 Word limit: —1,000 words
- 4 Line space: —22 pt with indented paragraphs except headers. No extra space between paragraphs.

甲（課程博士）

学位請求書

年 月 日

明治大学大学院

研究科長 殿

研究科 専攻

氏名

印

年 月 日生

明治大学学位規程第5条の規定に基づき、博士（ ）の学位を請求いたします。

論文題名	
指導教員名	印
入学年度 (再入学年度)	年度入学 (年度再入学)
学生番号	
本籍 / 国籍	

- (注) 1 論文題名が日本語の場合、括弧内には英語による題名を併せて記入すること。
論文題名が英語の場合、括弧内には日本語による題名を併せて記入すること。
論文題名が英語以外の外国語の場合、括弧内には日本語及び英語による題名を併せて記入すること。
- 2 「本籍/国籍」欄には、日本国籍の者は本籍地の都道府県名を、日本国籍以外の者は国籍を、それぞれ記入すること。

研究科長		専攻主任		事務担当	
------	--	------	--	------	--

研究科委員会 論文受理 年 月 日
研究科委員会 審査合格 年 月 日
大学院委員会 審査合格 年 月 日

履 歴 書

(記入年月日：20 年 月 日)

写真貼付欄
(約4cm×3cm)
※必ず証明写真を添付すること。
スナップ写真、画像印刷不可

ふりがな			
氏 名 (自署)	⑩		
英文氏名			
生年月日	19 年	月	日生 (歳)
性 別		国 籍	

ふりがな			
現住所	〒 ー		
電 話		携帯電話	
F A X		E-mail	

【学歴】※高等学校卒業以降について記入してください。

学校名等	在学期間 (年月)	卒業・修了 退学・在学等
〇〇〇〇高等学校	19XX年XX月 ~ 19XX年XX月	卒業
	~	
~~~~~		
	~	

【学位】※博士学位については、学位名の後に<課程・論文の別>及び「論文題名」を記入してください。

学位名 (修士・博士・専門職)	取得機関	取得年月日
		年 月 日

[氏 名 (自署) : ⑩ ]

【職歴】※無職の期間も必ず記入してください。

在職期間 (年月日)	勤務先名・所属・職名及び資格等
19XX年XX月XX日 ~ 19XX年XX月XX日	
~	
~~~~~	
~	

Resume

Place
photograph
here
(4cm×3cm)

Date (year/month/day)
Signature

Name	Family	First	Middle
In Katakana			
Date of Birth (y/m/d)		Age	
Sex		Nationality	
Address			
Phone		Mobile Phone	
Fax		E-mail	
Status of Residence		Date of expiration (y/m/d)	
Contact in Case of Emergency			
Name		Relation	
Address			
Phone			

Education (Last high school, universities, etc.)

Name of School (Faculty, Program) , Country	Period (y/m)	Completion, Degree, Graduated or Quit
	~	

~~~~~

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | ~ |  |
|--|---|--|

Signature :

Academic Degrees

| Degree, Title of Dissertation | Name of School, Country | Date (y/m/d) |
|-------------------------------|-------------------------|--------------|
|                               |                         |              |
|                               |                         |              |

Employment

| Period (y/m/d) | Employer, Position (Full or Part-time) |
|----------------|----------------------------------------|
| ~              |                                        |

~~~~~

~	
---	--

業績書

(記入年月日：20 年 月 日)

ふりがな	
氏名 (自署)	⑩

1 著書 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に記入すること。

No.	発表年月	「タイトル」、著者名等、発行所・出版社等、最初と最後の頁

2 学術論文 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に記入すること。

No.	発表年月	「タイトル」、著者名等、掲載誌等・巻・号 (発行所・出版社等)、最初と最後の頁
【査読あり】		
【査読なし】		

3 翻訳・書評・作品等 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に記入すること。

No.	発表年月	種 類	「タイトル」、著者名等、掲載誌等・巻・号 (発行所・出版社等)、最初と最後の頁

4 学会発表 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に必要事項を記入すること。

No.	発表年月	「タイトル」、単独発表・共同発表の別、発表学会、開催地

5 その他研究上の活動における特筆すべき事項 ※ 新しい年月順 (現在→過去) に記入すること。

No.	概 要

Professional Experience

(Date: / /)

In Katakana	
Signature	

1 Books (Begin with the most recent)

No	Date of Publication	"Title", Authors, Publishers, Page indication (first and last)

2 Professional Publications (Begin with the most recent)

No	Date of Publication	"Title", Authors, Publishers, Page indication (first and last)
【Peer-reviewed】		
【Non-peer-reviewed】		

3 Translations, Book Reviews, Creative Works, etc. (Begin with the most recent)

No	Date of Publication	Category	"Title", Authors, Publishers, Page indication (first and last)

4 Conference Presentations (Begin with the most recent)

No	Date of Publication	"Title", Presenters, Name of Conference, Venue

5 Additional Special Comments related to Research Activities (Begin with the most recent)

No	Outline

明治大学学術成果リポジトリ登録・公開許諾書

Written Consent of Registration and Publication on Meiji Repository

明治大学図書館長 殿
To Chief Librarian of Meiji University Library

「明治大学学術成果リポジトリ運用指針」に同意し、博士学位請求論文の全文及び要旨を下記のとおり明治大学学術成果リポジトリに登録し、公開することを許諾します。

I agree with "Procedural Guideline of Meiji Repository" and permit to register the entire text and the abstract of the thesis for doctoral degree on Meiji Repository and publish them.

なお、同登録・公開することに関し、著作権関係上の問題はありません。

Regarding registration and publication, there is no problem of copyright.

(例) ○ 刊行物の場合： 出版社の了解を得ている。

Example Published materials: Got the permission of the publishing company

○ 引用の図版・写真がある場合： 著作権者の同意を得ている。

Reference illustrations and pictures: Got the agreement of the owner of copyright.

また、特許関係などで申請等が必要な場合、当該手続は既に済んでおります。

Appropriate procedure related to patent has been already done.

20 年 月 日 氏名 印
Date: Year Month Day Name Seal

氏名 Name	フリガナ	
	日本語 Japanese	
	英語 English	
所属 Affiliation	研究科 Graduate School	研究科 Graduate School
	学生番号 Student ID Number	
連絡先 Contact	電話番号 Telephone Number	
	メール E-mail	
論文題名 Title	論文の題名を記入してください。通常は日本語。ただし、外国語で作成した論文については当該国の言語で記入願います。 You shall write the title of the thesis. Ordinary in Japanese, but in case of the text in non-Japanese language, write in relevant language.	
	上記が日本語の場合は、英語題名を、英語以外の外国語の場合は日本語及び英語の題名を右欄に記入してください。 In case of above Title in Japanese, Title in English shall be written in the right column. In case of above Title in any language but Japanese and English, Title in both Japanese and English shall be written in the right column.	

〔個人情報の取扱いについて〕 Handling of personal information

1. この許諾書に記載いただいた情報は、本人の同意を得ずに、明治大学学術成果リポジトリへの登録・公開以外の目的で使用することはありません。

Information in this paper will be used only for the purpose of registration and publication on Meiji Repository.

2. 明治大学学術成果リポジトリへの登録・公開業務の一部を明治大学が指定する業者に委託します。この業務委託にあたり、個人情報の一部を当該業者に提供することがあります。

Please note in advance that Meiji University may provide a part of personal information for designated vendor in case of outsourcing the operation.

博士論文のインターネット公表留保申請書

【見本7】

博士論文のインターネット公表留保申請書
Application Form of Internet Publication Doctoral Thesis on hold

20____年____月____日
Date: Year Month Day

明治大学大学院

_____研究科長 殿

To Dean of the Graduate School of ***
Meiji University

_____研究科 _____専攻
Graduate school Program

氏名 _____ 印
Name Seal

19____年____月____日生
Date of Birth: Year Month Day

私が執筆した博士学位請求論文について、やむを得ない事由があるため、明治大学学術成果リポジトリにより「全文」を公表することを留保し、代わりに「要約」を同リポジトリにより公表することを希望します。

Regarding my thesis for Doctoral Degree, due to inevitable reasons, I apply to put publication of the entire text on Meiji Repository on hold and publish "Abstract" instead.

論文題名 Title	
指導教員 Supervisor	印 Seal
学生番号 Student ID Number	
連絡先 Contact	E-Mail : 電話 : Telephone Number

氏名 _____
Name

I 「やむを得ない事由」について

Inevitable Reason

(1) 該当する下記の項目の□にチェックを入れてください。(複数選択可)
Please check the box of applicable reason below. (Multiple answers are accepted.)

(2) その内容について、具体的に記載してください。
Please explain the reason in detail.

(3) 記載した内容を裏付ける資料等を本申請書に添えて提出してください。
Please attach support documents to this paper.

- 1 当該論文に立体形状による表現を含むため。
The thesis includes cubic expressions.
- 2 個人情報に係る制約があるため。
There is restriction of personal information.
- 3 著作権に係る制約があるため。
There is restriction of copyright.
- 4 当該論文は既に出版刊行されており、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
The thesis has been already published, and publication on the internet will absolutely occur disadvantages.
- 5 近く当該論文を出版刊行する予定があり、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
The thesis is forthcoming publication, and publication on the internet will absolutely occur disadvantages.
- 6 当該論文は学術ジャーナルに既に掲載されており、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
The thesis has been already published in an academic journal, and publication on the internet will absolutely occur disadvantages.
- 7 近く当該論文を学術ジャーナルに掲載する予定があり、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
The thesis is forthcoming publication in an academic journal, and publication on the internet will absolutely occur disadvantages.
- 8 当該論文に係る内容について、特許や実用新案を申請中であり、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
Application of patent and utility model about the contents is underway, and publication on the internet will absolutely occur disadvantages.
- 9 当該論文に係る内容について、近く特許や実用新案を申請する予定があり、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
Application of patent and utility model about the contents will be underway, and publication on the internet will absolutely occur disadvantages.
- 10 上記1～9には該当しないが、インターネットでの公表により明らかな不利益が発生するため。
The reason does not fall under nine categories listed above, but publication on the internet will absolutely occur disadvantages.

氏名 _____
Name

【やむを得ない事由の具体的説明】

Detailed explanation about inevitable reason.

* 上欄に記載せず別紙による提出も可とします。別紙による提出の場合はA4判サイズの用紙にて作成し、所属する研究科、専攻、氏名、学生番号を付記すること。

Detailed explanation can be submitted with A4-size another paper, and the graduate school, program, name and student ID number shall be written in it.

氏名 _____
Name

II 「留保期間」について

Pending period

20 年 月 日まで,
Until: Year Month Day

インターネットでの博士論文（全文）公開を留保することを希望する。
I apply pending publication of the entire text on the internet.

* 前述の「やむを得ない事由」1及び2を除き、今回申請できる留保期間は、博士学位取得予定日から原則として最長5年間とします。

Pending period shall be five years basically after Doctoral Degree conferred except the forementioned reason 1 and 2.

以上

研究科長		専攻主任		事務担当	
------	--	------	--	------	--

研究科委員会 承認日 年 月 日

2018年11月7日更新

赤字部分が変更箇所となります。

大学院委員会 承認日 年 月 日